

木材加工のツーリング技術をリードするドイツ・ライツ社の日本法人・ライツ(株)(神奈川県横浜市港北区北新横浜2-7-2、ペーター・シヴァリ社長)は日本木工機械展/ウッドエコテックに出展し、高パフォーマンスな切削を実現するルーターシリーズ「エッジエキスパート」(EdgeExpert)、カッターヘッド「ヘリカット」(HeliCut)を中心に

最新の切削技術を紹介した。

ヨーロッパの家具生産ではCNCマシニングセンター等の加工が高度化し、新しいコンセプトのもとでのツール開発を必要になった。そうした声に応えてライツが開発した新ツールシステムがエッジエキスパートで、大きなリード角を持ちながら、2枚刃、3枚刃仕様では全刃有効切削を可能にした最新技術をもとに設計



